

(2) 腕時計作り体験実習

- ・全小学校6年生500名に近い子どもたちが、セイコーエプソンの技能五輪世界大会優勝者等一流の技術者のみなさんに教えていただきながら、初めて精密な時計の組み立てに挑戦。緊張しながら部品を一つ一つ組み込んだ子どもたちは完成した本格的な腕時計に感動の声をあげる。
- ・諏訪の子どもたちが体験できる貴重な学習となっている。

(3) 諏訪圏工業メッセへの出品

- ・毎年10月後半に行われる諏訪圏工業メッセに諏訪市教育委員会としてブースを確保し「相手意識に立つものづくり科」で製作した子どもたちの作品を出展し多くの方々に見ていただいている。子どもたちは選ばれて出品することを誇りに思っている。主催者としても大変大事に考えてくれている。
- ・いくつかの企業や研究機関等から連携を求めてのお話をいただく。企業にとっても子どもの作品の中に大事なヒントを見出すことがあるようだ。

(4) チャレンジショップの開催

- ・毎年12月、全学校から約2000点に及ぶ子どもたち手作りの商品が並び一般の人々を対象に販売体験を行う「チャレンジショップ」を開催している。
- ・販売マニュアルや事前指導の中で、物を売ることの意味や態度のあり方などを勉強した子どもたちは、実際の販売活動を通して貴重な社会体験をする。礼儀や態度など人との関係からも、ものの売り買いの仕組み、ものづくりの厳しさや喜び、友との協力など総合的な学習となっていて、商品の質も年々飛躍的に向上している。

5 ものづくり教育の成果

(1) 成果

- ・児童生徒の中に、相手意識に立つものづくり学習のパターン、プロセスが身についてきていて、その中で対象に心を寄せての心情の育ちも顕著である。
- ・「相手意識に立つ」ことを大事にした学習の展開がなされることで、他者への思いやりの気持ちや人とのコミュニケーションの力が付いてきた。
- ・子どもたちはものづくりの勉強が大好きで、基本的な技能の習得や道具の使い方の学習、相手を決めて自らの構想で取り組む学習に浸っている。
- ・学習の積み重ねにより作品の質の向上、アイデアの多様性などが顕著。特に中学生の作品は実用性やアイデアに優れ、丁寧ですばらしい作品ができるようになってきた。
- ・時計作りや地域密着型ものづくり講座など企業の方々の方々の努力で支えられているものづくり学習は大変貴重であり、体験学習としても質の高いものである。チャレンジショップや工業メッセへの出品等も含めて子どもたちにすばらしい力をつけてくれるものとなっている。
- ・設計図や構想図をしっかり書いたり、カード等を使って構想段階での練り上げをしたりすることを大事にした学習が、質の高い作品や工夫のある作品作りにとっても大事であることが多くの実践から明確になってきた。
- ・道具や工具の整備、メンテナンス、技能との関連などについて重視した実践が多くなってきた。

・私はものづくりをやって一つ知りました。それはものづくりでいろいろなものをつくと友だちや家の人たちなどといっぱい協力できるということです。ものづくりをやってよかったです。

・以前にも同じものを作ったけど、(サポーターにやり方をおしえてもらって)見違えるような伝言板ができました。その伝言板は今だれかに使われています。(チャレンジショップで販売)その人のやくにたっていたらうれしいです。

(ものづくり学習の感想から一小学生)

<子どもたちの姿から>



家族が使う竹製の器づくり (丁寧にヤスリがけ)

お母さんとお父さんに贈る押し花コースター
(設計図と作品)



贈る相手のことを想い、
使い手の使い勝手を考えて

ものづくりを楽しむ子どもたち



家族に贈る竹箸づくり (手にあった長さにして)



地域密着型ものづくり講座 (製造過程の体験)



保育園児との交流会でプレゼント (喜んでくれる色は?)



製作の基本は設計が重要